Nipponham Group

FY2027/3 2Q

決算説明会資料

～2027年3月期 第2四半期～

日本ハム株式会社

2026年11月2日

CONTENTS

01 実績/セグメント別の実績

03 FY2027/3 上期 実績決算サマリー
04 FY2027/3 通期計画サマリー
05 実績ハイライト FY2027/3 上期 実績
08 FY2027/3 上期実績 加工事業本部
10 FY2027/3 上期実績 食肉事業本部
12 FY2027/3 上期実績 スポーツ・エンターテイメント事業部

02 計画

14 計画ハイライト FY2027/3 通期計画
17 FY2027/3 通期計画 加工事業本部
19 FY2027/3 通期計画 食肉事業本部

03 主な財務データ/Appendix

22 FY2026/3連結業績概要及びFY2027/3計画
23 連結財政状態計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書
24 設備投資額、減価償却費
25 Appendix

※ 当社は国際会計基準(IFRS会計基準)を適用しています。
※ 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともに
IFRS会計基準への調整及び非経常項目を除外して算出しております。
※ 四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。
※ FY2027/3に「スポーツ・エンターテイメント事業部」を新設し、従来のボールパーク事業をその傘下とする組織再編を行いました。
これに伴い、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を「スポーツ・エンターテイメント事業部」に変更しております。
加えて、全社費用に含まれる事業部門の範囲変更に伴い、各報告セグメントに配賦する全社費用の金額についても変更しております。
また、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に組替えて表示しております。
※ 当社は、2026年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が
行われたものと仮定して、基本的１株当たり中間利益を算出しております。

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3 上期実績

売上高	7,694 億円	前年比	+6.5%
事業利益	288 億円	前年比	△20.7%
親会社の所有者に帰属する中間利益	174 億円	前年比	△25.0%
経営指標	ROE 3.3%	前年差	△1.1%
	ROIC 2.5%	前年差	△0.7%
	EPS 62.3円	前年差	△16.1円

Topics

【売上高】

・食肉事業の国内における堅調な販売数量や、調達価格高騰に対する適切な価格転嫁、加工事業における海外加工の回復や国内の主力ブランド、乳製品、エキス事業がけん引

【事業利益】

食肉・SE※における収益基盤の強化や、加工事業の主力ブランドは伸長、一方で、豪州事業の環境悪化や加工事業のコスト高騰に対し、見込んでいた販売数量の拡大に伴う粗利益の確保に至らず減益

※SE：スポーツ・エンターテイメント事業

内部要因

・食肉） 国産鶏肉の生産性向上や国産豚肉における生産頭数拡大、販売における適切な価格転嫁や販売施策の推進
・SE） 新たな体験価値や魅力的なサービス提供により収益性が向上
・加工） 主力ブランドなどの単価や商品ミックス改善は進展、コスト高騰を吸収する販売数量増は計画未達

外部要因

・豪州事業における生体価格の高騰と販売価格の低迷
・主原料や包材、電燃料等の高騰、飼料価格の上昇が利益を圧迫

【親会社の所有者に帰属する中間利益】

・営業利益の大幅な減少が影響し、減益

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

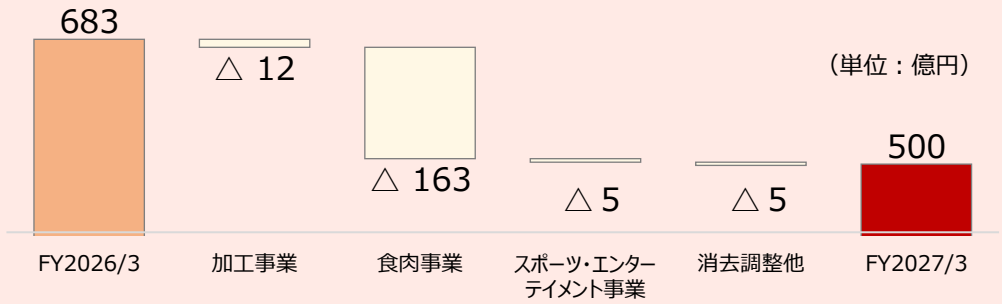
FY2027/3 通期見込

売上高	15,000 億円	前年比 +2.9%
事業利益	500 億円	前年比 △26.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	350 億円	前年比 △0.2%
経営指標	ROE 6.7%	前年差 +0.1%
	ROIC 4.4%	前年差 △1.7%
	EPS 128.7円	前年差 +8.3円

Topics

【売上高】
・加工） 国内重点ブランドの販促強化や新商品導入、北米での販売伸長により増収を見込む
・食肉） 生産や調達環境が不安定な中、販売におけるタイムリーな価格転嫁が寄与し増収を見込む

【事業利益】
・加工） 海外の数量拡大やスリム化は進むも、ハム・ソーセージ＆加工品の粗利益が不足し、製造コスト高騰分を吸収しきれず減益
・食肉） 豪州の生体価格高騰や国内外の飼料や燃料コスト上昇などが響き減益



【親会社の所有者に帰属する当期利益】
・火災保険金の計上はあるが、営業利益の減少から当期利益も減益を見込む

【経営指標】
・自社株買いなどによる自己資本の圧縮によりROEは0.1%改善

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

5 実績ハイライト① FY2027/3 上期実績

（単位：億円）

	FY2026/3 上期	FY2027/3 上期	前年差	増減率
売上高	7,226	7,694	468	6.5%
事業利益	363	288	△75	△20.7%
事業利益率	5.0%	3.7%	△1.3%	-
税引前中間利益	383	308	△74	△19.4%
親会社の所有者に帰属する中間利益	232	174	△58	△25.0%

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

（単位：億円）

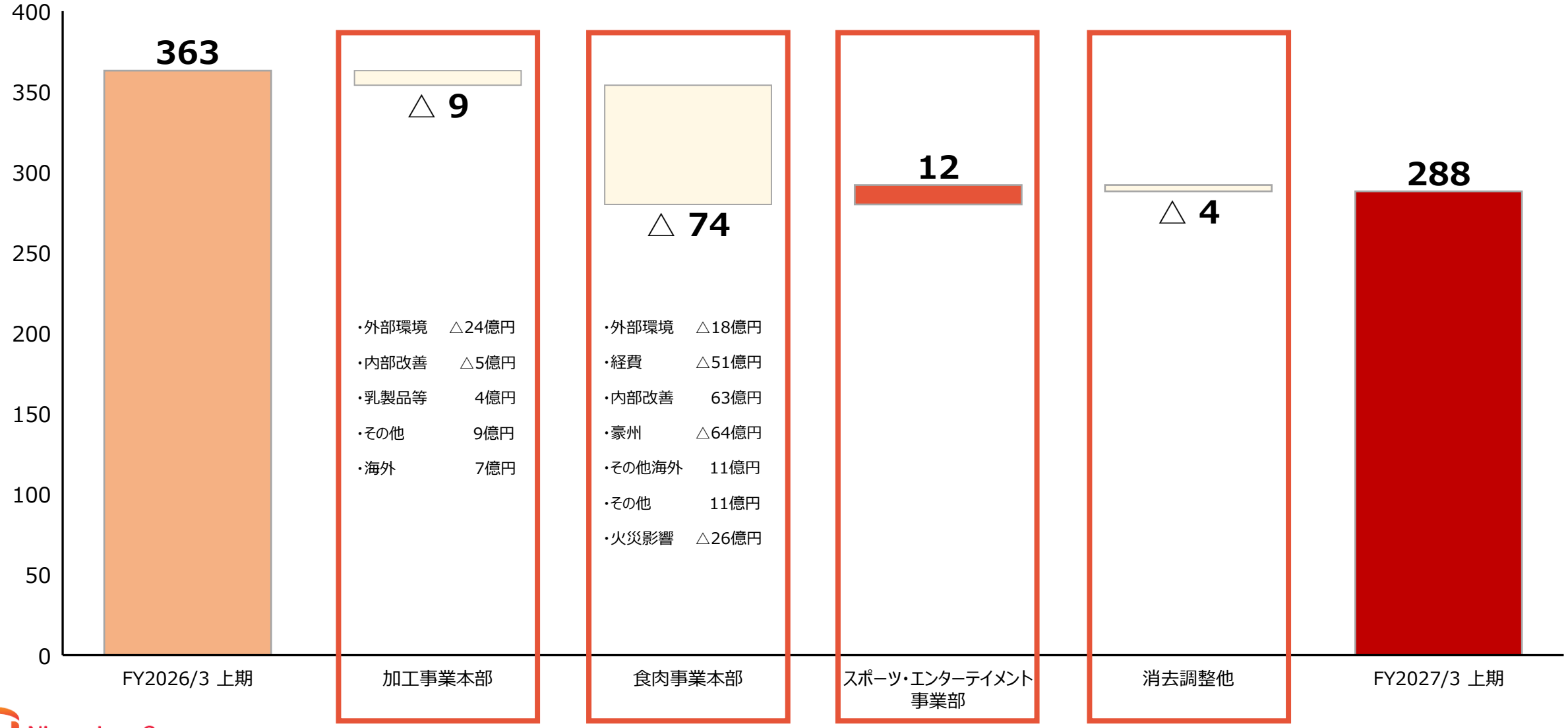
	売上高				事業利益			
	FY2027/3 2Q	FY2027/3 上期	前年差	増減率	FY2027/3 2Q	FY2027/3 上期	前年差	増減率
加工事業本部	1,382	2,704	121	4.7%	6	13	△9	△40.1%
食肉事業本部	2,711	5,519	452	8.9%	50	203	△74	△26.8%
スポーツ・エンターテイメント事業部	126	252	24	10.6%	47	96	12	14.6%
消去調整他	△375	△781	△130	-	△9	△24	△4	-
連結計	3,844	7,694	468	6.5%	94	288	△75	△20.7%

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

事業利益実績増減

（単位：億円）



Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3 上期実績 加工事業本部①

（単位：億円）

	FY2027/3 2Q	FY2027/3 上期	前年差	増減率
売上高	1,382	**2,704**	121	4.7%
内) 国内事業	1,028	**2,004**	29	1.5%
内) 海外事業	354	**699**	93	15.3%
事業利益	6	**13**	△9	△40.1%
内) 国内事業	6	**17**	△16	△48.5%
内) 海外事業	0	**△4**	7	-
事業利益率	0.4%	**0.5%**	△0.4%	-
内) 国内事業	0.6%	**0.9%**	△0.8%	-
内) 海外事業	-	**-**	-	-

売上高 増収

国内）コンシューマ群の主力ブランドやエキス、乳製品の販売が好調に推移も、業務用はCVS向けの販売が苦戦

海外）北米：主力商品群の売上が堅調に推移
タイ：日本向け商品の売上が伸長

事業利益 減益

国内）原材料や電燃料の高騰
物流費や販売手数料などの経費増加

海外）北米：鶏肉原料価格の安定や製造効率改善
タイ：生産性は改善しつつも、原料相場の上昇や為替が影響

コンシューマ商品別/チャネル別 上期売上実績（前年比）

ハム・ソーセージ	金額
ウインナー群	105%
シャウエッセン群※	106%
その他ウインナー群	104%
ハム・ベーコン群	97%
コンシューマ計	103%
業務用	102%
総計	103%

加工品	金額
チルドベーカリー群	105%
中華名菜群	99%
フライドチキン群	95%
ハンバーグ・ミートボール群	101%
コンシューマ計	105%
業務用	95%
総計	101%

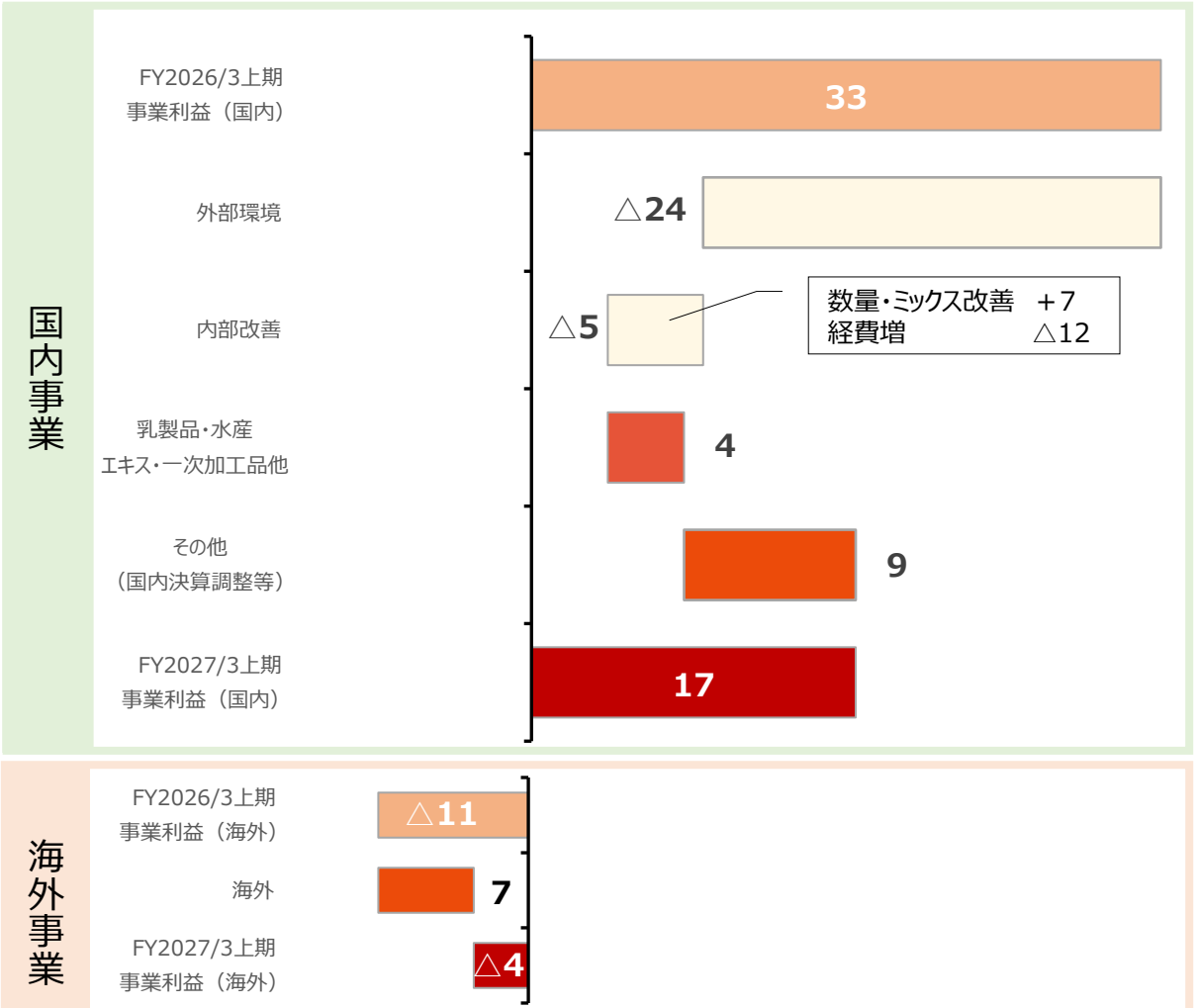
※シャウエッセン群は「シャウエッセン」「シャウスライス」などを含む

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3 上期実績 加工事業本部②

事業利益増減要因分析

（単位：億円）



【外部環境】
・豚肉などの主原料価格高騰
・包材などの副資材や電燃料高騰

【内部改善】
（売上）
・シャウエッセンや石窯工房などの主力ブランドに注力した販売戦略により商品ミックス改善
・業務用全体の売上高は回復基調も原材料の高騰により粗利益が悪化

（経費）
・物流費や販売手数料などの増加
・生産ライン数の削減などによる固定費削減

【乳製品・水産・エキス・一次加工品他】
・原材料高騰に対し適切な価格転嫁が進み、加工事業の利益をけん引

【海外】
・北米：主力商品の売上が好調に推移
買収工場における製造体制が確立し、前年比で製造数量伸長
・タイ：商品統廃合や人員コントロールなどの製造効率化により生産性が向上するも、為替影響と鶏肉原料価格の高騰により減益

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3 上期実績 食肉事業本部①

（単位：億円）

	FY2027/3 2Q	FY2027/3 上期	前年差	増減率
売上高	2,711	**5,519**	452	8.9%
内) 国内事業	2,252	**4,540**	302	7.1%
内) 豪州事業	459	**978**	150	18.1%
事業利益	50	**203**	△74	△26.8%
内) 国内事業	53	**189**	△11	△5.5%
内) 豪州事業	△3	**14**	△64	△81.9%
事業利益率	1.8%	**3.7%**	△1.8%	-
内) 国内事業	2.4%	**4.2%**	△0.6%	-
内) 豪州事業	-	**1.4%**	△7.9%	-

※国内事業には、豪州事業を除く海外関係会社を含む

売上高 増収

- 生産や調達環境が不安定な中でも、販売数量は堅調に推移
- 各畜種の調達価格の変動に対応した適切な価格転嫁が進み、増収

事業利益 減益

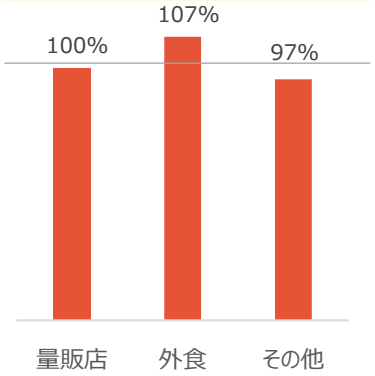
- 豪州事業における生体価格高騰に加え、輸出不振に伴う豪州国内の需給緩和により販売価格が低迷し減益
- 飼料価格や人件費、物流費などのコスト上昇
- 知床食品工場の火災による国産鶏の生産羽数減で減益

フード販売グループ
畜種別売上数量・金額実績(前年比)

	国産		輸入		合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
牛肉	101%	114%	98%	115%	99%	115%
豚肉	105%	105%	97%	101%	102%	104%
鶏肉	101%	102%	76%	99%	94%	101%
合計	102%	106%	90%	107%	98%	106%

フード販売グループ
チャネル別 売上数量実績

数量：前年比99%
（金額：前年比107%）



※フード販売グループは食肉販売会社を指す。
東日本フード・関東日本フード・中日本フード・西日本フード・NHジャパンフード

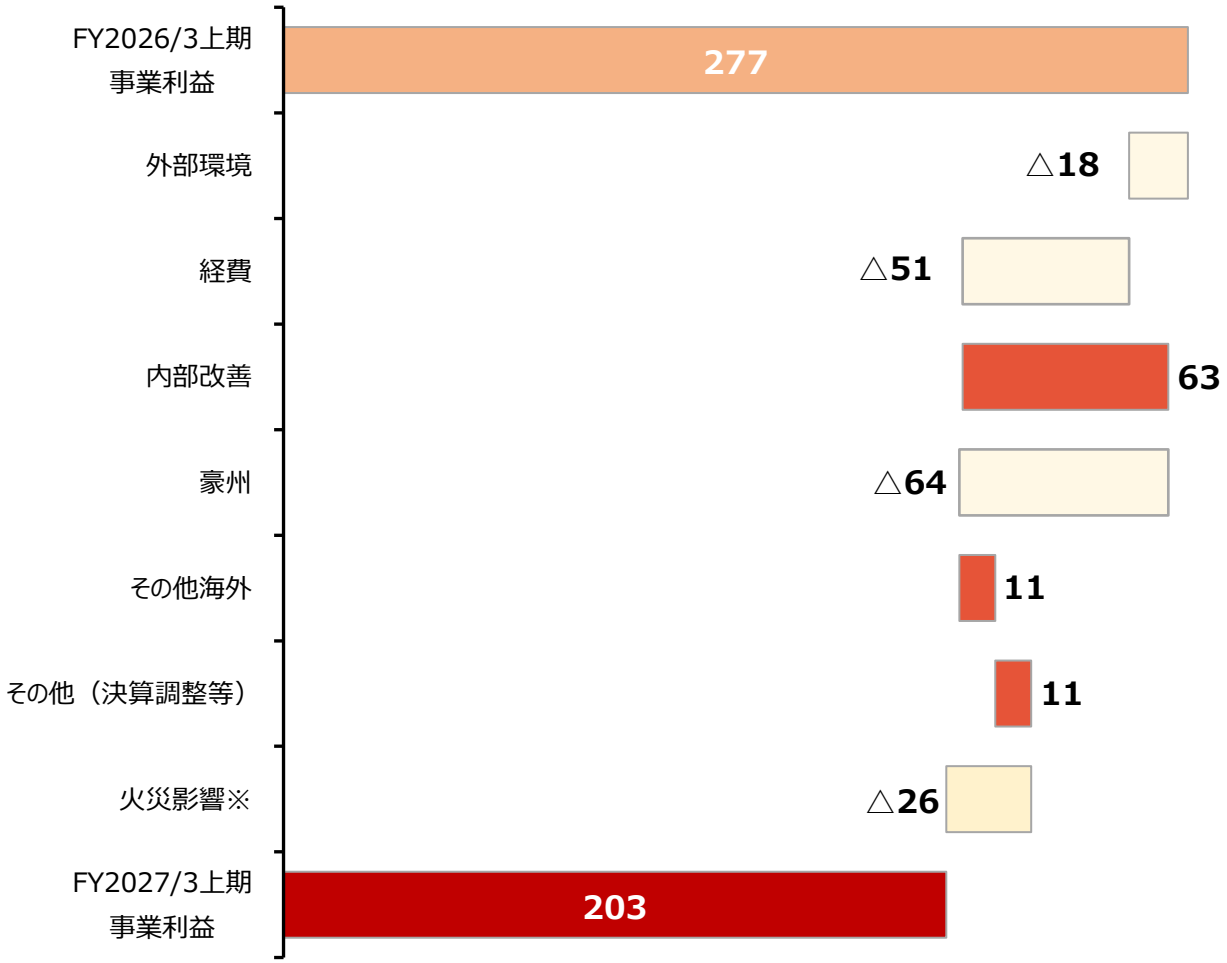
Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3 上期実績 食肉事業本部②

事業利益増減要因分析

（単位：億円）



【外部環境】
・国産豚肉や鶏肉の飼料単価上昇

【経費】
・人件費や物流費などのコスト上昇

【内部改善】
・国産鶏肉の生産性向上や国産豚肉における生産頭数拡大
・販売における価格転嫁、販売施策推進による収益改善

【豪州】
・中国や韓国のSG※発動による需給環境の変化を受け、販売価格が低迷
・天候要因などによる生体価格の高止まりが継続
・高付加価値牛肉比率の向上により、収益下支えとボラティリティを低減

【その他海外】
・スペイン産豚肉の代替として、チリ産やブラジル産豚肉の調達が好調に推移

※火災影響：知床食品工場火災による、国産鶏の生産減少や機会損失などによる減益
※SG：セーフガード

Nipponham Group

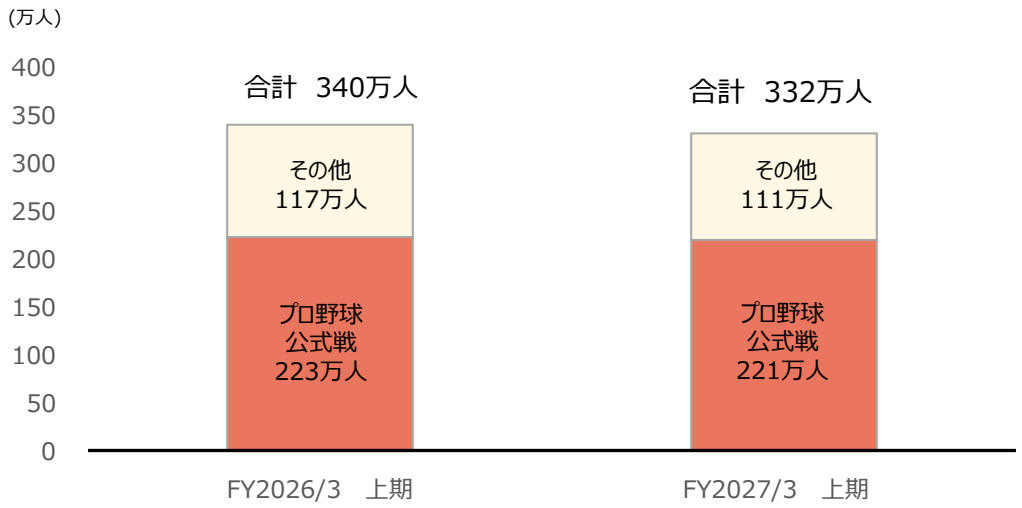
Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3　上期実績
スポーツ・エンターテイメント事業部

（単位：億円）

	FY2027/3 2Q	FY2027/3 上期	前年差	増減率
売上高	126	**252**	24	10.6%
事業利益	47	**96**	12	14.6%
事業利益率	37.3%	**38.2%**	1.3%	-

北海道ボールパークFビレッジ来場者数



売上高/事業利益　増収増益

・シーズン終盤まで白熱した順位争いにより、堅調な動員を維持
・来場者への新たな体験価値や魅力的なサービスを継続して提供し、収益性の向上が、増収増益をけん引



（ファイターズ超夏祭りの開催）
縁日やビアガーデン、自社ブランドを打ち出したシャウ祭り/桜姫祭りなど、多様なエンタメ企画を展開し、幅広い層の集客を促進



（道内にてファームの試合を6試合開催）
エスコン開催試合(約19千人動員)を含む総数約55千人の動員を実現



（世界初となる球場でワイン醸造を目指すレストラン）
球場という特別な空間で、最高の一杯と料理を楽しむ新しいスタイルの飲食体験を提供



（ジャパン・ツーリズム・アワード2026を受賞）
国内観光の発展や地域活性化に貢献する先進的な取り組みが評価

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved.（無断転載禁止）

CONTENTS

01 実績/セグメント別の実績

03 FY2027/3 上期実績サマリー
04 FY2027/3 通期計画サマリー
05 実績ハイライト FY2027/3 上期実績
08 FY2027/3 上期実績 加工事業本部
10 FY2027/3 上期実績 食肉事業本部
12 FY2027/3 上期実績 スポーツ・エンターテイメント事業部

02 計画

14 計画ハイライト FY2027/3 通期計画
17 FY2027/3 通期計画 加工事業本部
19 FY2027/3 通期計画 食肉事業本部

03 主な財務データ/Appendix

22 FY2026/3 連結業績概要及びFY2027/3計画
23 連結財政状態計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書
24 設備投資額、減価償却費
25 Appendix

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

計画ハイライト① FY2027/3 通期計画

（単位：億円）

	FY2026/3通期実績	FY2027/3通期見込	前年差	増減率
売上高	14,574	15,000	426	2.9%
事業利益	683	500	△183	△26.8%
事業利益率	4.7%	3.3%	△1.4%	-
税引前当期利益	545	520	△25	△4.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	351	350	△1	△0.2%
ROE	6.6%	6.7%	0.1%	-
ROIC	6.1%	4.4%	△1.7%	-
EPS（円）	120.4	128.7	8.3	-

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

セグメント別事業利益計画

（単位：億円）

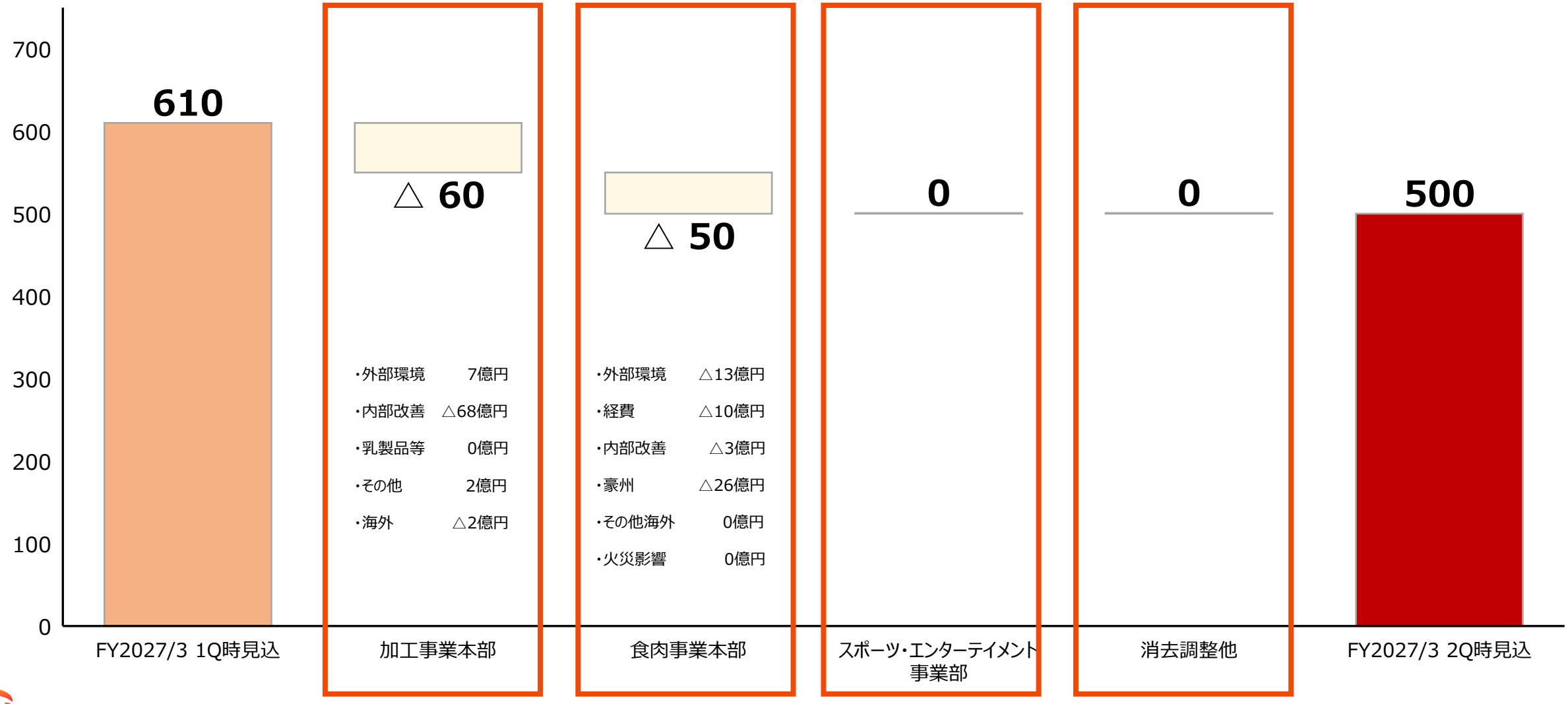
	1Q	上期			下期			通期		
	実績	1Q時見込	実績	見込差	1Q時見込	2Q時見込	見込差	1Q時見込	2Q時見込	見込差
加工事業本部	7	30	13	△17	90	47	△43	120	60	△60
食肉事業本部	153	240	203	△37	260	247	△13	500	450	△50
スポーツ・エンターテイメント事業部	49	95	96	1	△55	△56	△1	40	40	0
消去調整他	△15	△25	△24	1	△25	△26	△1	△50	△50	0
連結計	**194**	**340**	**288**	**△52**	**270**	**212**	**△58**	**610**	**500**	**△110**

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

事業利益見込増減

（単位：億円）



Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3通期計画　加工事業本部①

（単位：億円）

	FY2026/3 実績	FY2027/3 1Q時計画	FY2027/3 2Q時見込	前年差	増減率
売上高	5,303	**5,600**	**5,600**	297	5.6%
内) 国内事業	4,032	**4,200**	**4,200**	168	4.2%
内) 海外事業	1,271	**1,400**	**1,400**	129	10.1%
事業利益	72	**120**	**60**	△12	△16.5%
内) 国内事業	94	**120**	**61**	△33	△35.3%
内) 海外事業	△22	**0**	**△1**	21	-
事業利益率	1.4%	**2.1%**	**1.1%**	△0.3%	-
内) 国内事業	2.3%	**2.9%**	**1.5%**	△0.9%	-
内) 海外事業	-	**-**	**-**	-	-

売上高 増収

国内）コンシューマ群は重点ブランドを中心とした販促強化と新商品導入で販売数量を拡大
業務用は年末最需要期に向けた大型販促の展開や未開拓領域へのアプローチで売上確保
海外）北米：新規チャネル開拓、販売伸長により売上確保

事業利益 減益

国内）トップラインの拡大遅れで粗利益の確保ができず減益
海外）北米：販売数量の拡大による粗利益の伸長
タイ　：黒字化に向けた事業スリム化による経費削減

コンシューマ商品別/チャネル別　通期売上計画（前年比）

ハム・ソーセージ	金額
ウインナー群	106%
シャウエッセン群※	107%
その他ウインナー群	103%
ハム・ベーコン群	96%
コンシューマ計	104%
業務用	104%
総計	104%

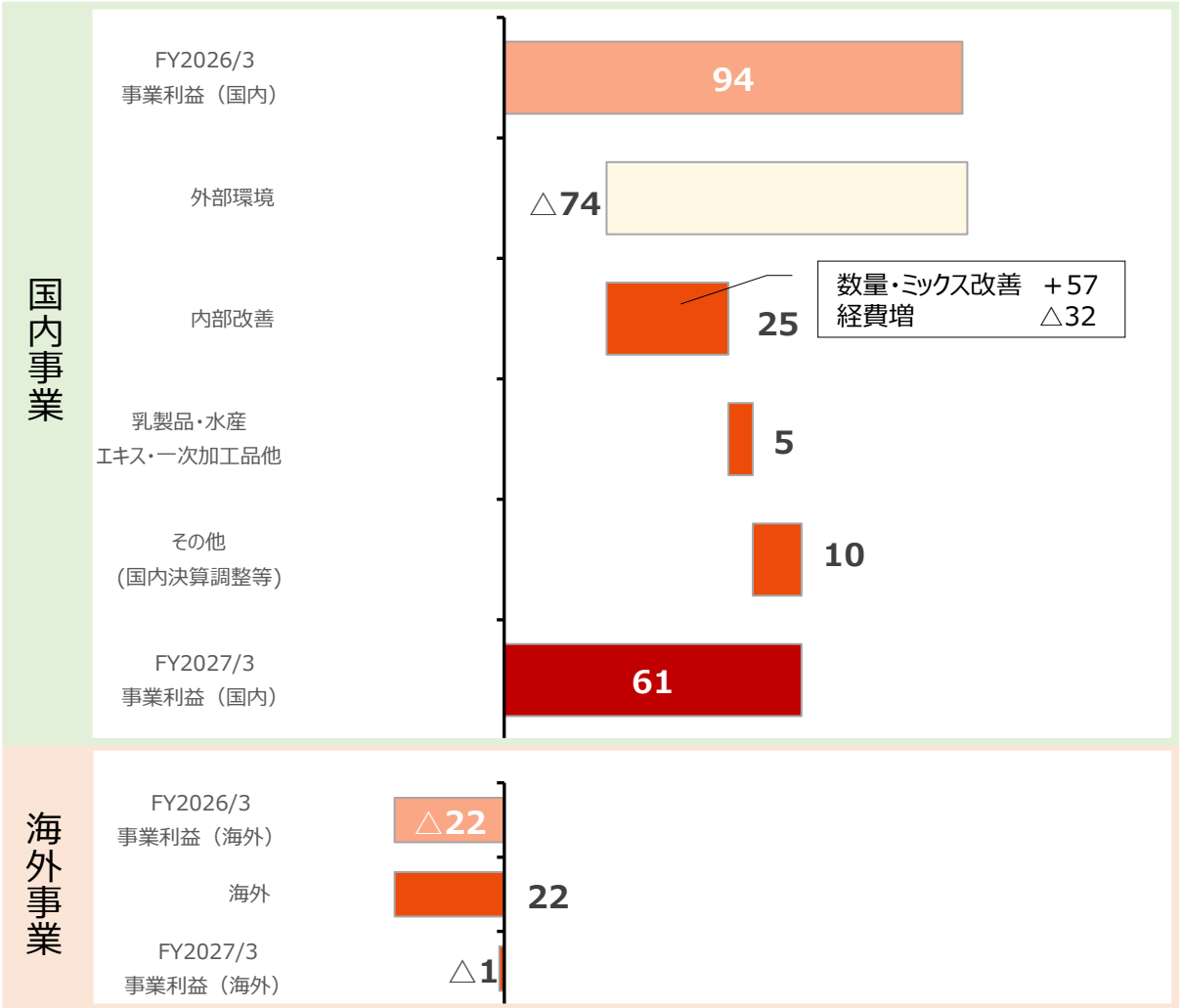
加工品	金額
チルドベーカリー群	105%
中華名菜群	100%
フライドチキン群	99%
ハンバーグ・ミートボール群	100%
コンシューマ計	104%
業務用	98%
総計	102%

※シャウエッセン群は「シャウエッセン」「シャウスライス」などを含む

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved.（無断転載禁止）

事業利益計画 前年差要因分析

（単位：億円）



【外部環境】
・豚肉などの主原料、副資材価格高騰
・包材などの副資材や電燃料高騰

【内部改善】
（重点ブランドや業務用の数量拡大と確実な価格改定を通じた収益性改善）
・価格改定の実施：期初想定を超過した外部コストの確実な吸収
・重点ブランドを中心とした販促の強化、新商品の導入による数量拡大や商品ミックスの改善を追求
・業務用の数量拡大に向けた新商品導入や未攻略企業への提案強化

（経費）
・物流費や販売手数料の上昇
・重点ブランドの拡販に向けた商品販促を実施
・人員構成最適化や生産ライン統廃合による生産効率化と固定費削減の継続

【乳製品・水産・エキス・一次加工品他】
・適切な商品提案によるトップラインの拡大継続
・調達コスト高騰に伴う適切な価格転嫁により粗利益確保

【海外】
・北米：生産基盤の整備が完了したことを受け、販売数量拡大フェーズへ移行
※買収工場でフルキャパのテスト生産を実施し、来期を見据えた課題抽出と対策を徹底
・タイ　：構造改革の加速による経費削減とCPF※との共創による内販強化

※CPF：Charoen Pokphand Foods Public Company Limited（チャロン・ポカパン・フーズ社）

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3通期計画　食肉事業本部①

（単位：億円）

	FY2026/3 実績	FY2027/3 1Q時計画	FY2027/3 2Q時見込	前年差	増減率
売上高	10,341	**10,450**	**10,450**	109	1.1%
内) 国内事業	8,636	**8,690**	**8,690**	54	0.6%
内) 豪州事業	1,705	**1,760**	**1,760**	55	3.2%
事業利益	613	**500**	**450**	△163	△26.6%
内) 国内事業	465	**430**	**416**	△49	△10.5%
内) 豪州事業	148	**70**	**34**	△114	△77.0%
事業利益率	5.9%	**4.8%**	**4.3%**	△1.6%	-
内) 国内事業	5.4%	**4.9%**	**4.8%**	△0.6%	-
内) 豪州事業	8.7%	**4.0%**	**1.9%**	△6.8%	-

※国内事業には、豪州事業を除く海外関係会社を含む

売上高 増収

・生産や調達環境が不安定な中でも、販売における タイムリーな価格転嫁を進め、増収

事業利益 減益

・豪州の生体価格が依然高止まり
・輸入鶏肉の仕入環境悪化と弱含む販売価格により 粗利益が減少
・飼料や燃料コストの上昇が継続

豪州牛肉事業の状況について



プレミアムブランドの処理頭数を強化し、ブランド比率上期60%超を達成

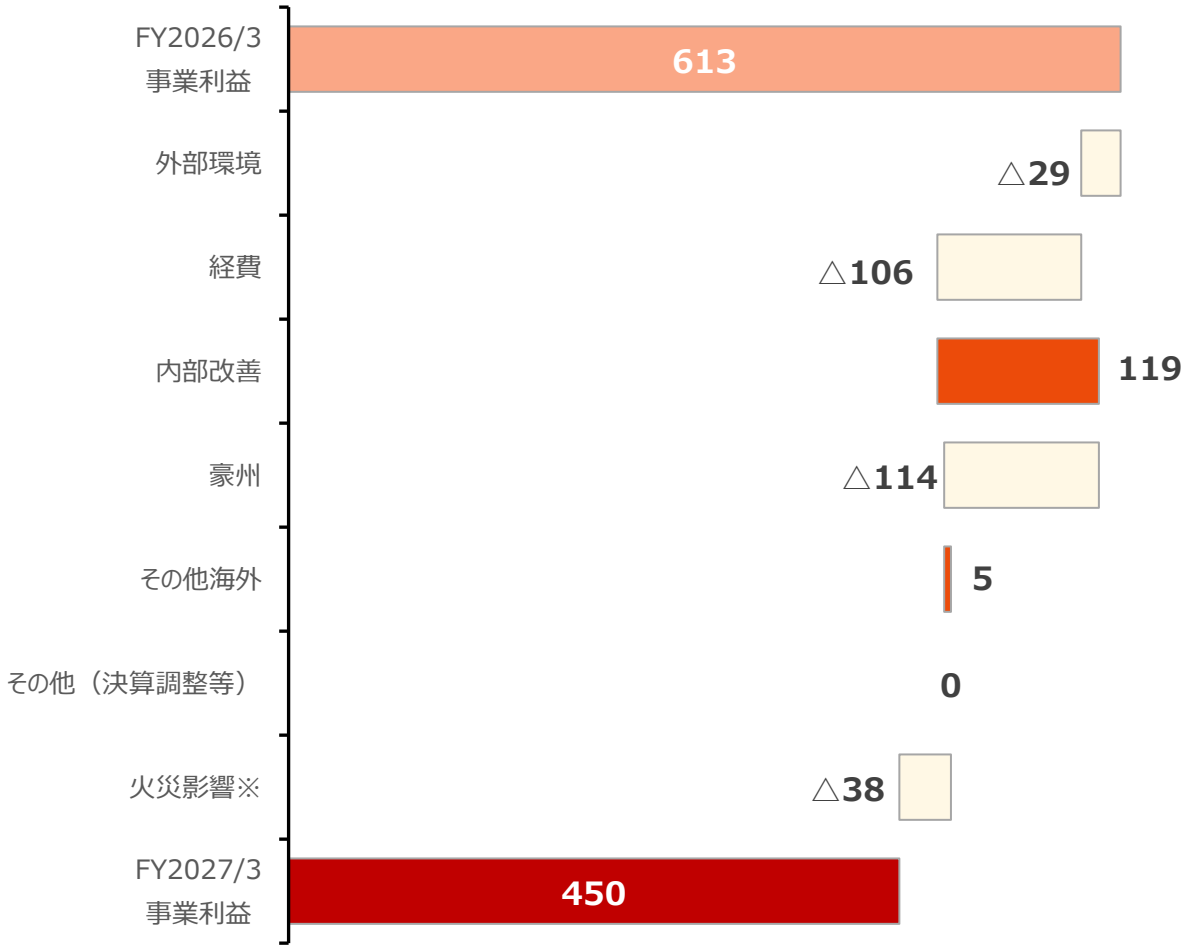
Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2027/3 通期計画 食肉事業本部②

事業利益計画 前年差要因分析

（単位：億円）



【外部環境】
・飼料価格の更なる高騰

【経費】
・人件費や物流費などの増加
・包材や燃料コストなどの上昇

【内部改善】
（生産）
国内生産基盤の強化およびブランド食肉の拡販を通じた収益性の向上
・【鶏肉】4工場の生産効率化を徹底し、知床食品工場の減産分をカバー
・【豚肉】新農場における更なる生産性追求
・季節要因に伴う疾病など、事業中断リスクの未然防止を徹底

（販売）
適切な価格転嫁と高付加価値提案により単価向上を図る
・ブランド食肉や加工品の販売拡大により収益性を改善
・ルート改革の深化と成長けん引企業への戦略的な提案強化による数量拡大
・物流効率化によるコスト競争力の強化

【豪州】
・下期は販売価格の回復を見込むが、生体価格は依然高止まり

【その他海外】
・スペイン産豚肉の代替としてチリ産やブラジル産豚肉の上期販売数量が寄与

※火災影響：知床食品工場火災による、国産鶏の生産減少や機会損失などによる減益

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

CONTENTS

01 実績/セグメント別の実績

03 FY2027/3 上期実績サマリー
04 FY2027/3 通期計画サマリー
05 実績ハイライト FY2027/3 上期実績
08 FY2027/3 上期実績 加工事業本部
10 FY2027/3 上期実績 食肉事業本部
12 FY2027/3 上期実績 スポーツ・エンターテイメント事業部

02 計画

14 計画ハイライト FY2027/3 通期計画
17 FY2027/3 通期計画 加工事業本部
19 FY2027/3 通期計画 食肉事業本部

03 主な財務データ/Appendix

22 FY2026/3連結業績概要及びFY2027/3計画
23 連結財政状態計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書
24 設備投資額、減価償却費
25 Appendix

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

FY2026/3連結業績概要及びFY2027/3計画

（単位：百万円）

	FY2026/3 実績			FY2027/3 計画					
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	増減率	下期計画	増減率	通期計画	増減率
売上高	722,599	734,792	1,457,391	769,358	6.5%	730,642	△0.6%	1,500,000	2.9%
売上原価	592,562	614,245	1,206,807	647,490	9.3%	612,510	△0.3%	1,260,000	4.4%
売上総利益	130,037	120,547	250,584	121,868	△6.3%	118,132	△2.0%	240,000	△4.2%
売上総利益率	18.0%	16.4%	17.2%	15.8%	-	16.2%	-	16.0%	-
販売費および一般管理費	94,723	98,261	192,984	97,949	3.4%	100,051	1.8%	198,000	2.6%
営業利益	35,314	22,286	57,600	23,919	△32.3%	18,081	△18.9%	42,000	△27.1%
その他収益・費用	3,641	△5,122	△1,481	8,753	140.4%	5,247	-	14,000	-
金融収益・費用	△124	△130	△254	△661	-	△1,339	-	△2,000	-
持分法による投資損益	△558	△762	△1,320	△1,179	-	△821	-	△2,000	-
税引前当期利益	38,273	16,272	54,545	30,832	△19.4%	21,168	30.1%	52,000	△4.7%
法人所得税費用	12,622	5,005	17,627	10,564	△16.3%	5,436	8.6%	16,000	△9.2%
税率	33.0%	30.8%	32.3%	34.3%	-	25.7%	-	30.8%	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	23,188	11,878	35,066	17,394	△25.0%	17,606	48.2%	35,000	△0.2%
ROE	4.4%	-	6.6%	3.3%	△1.1%	-	-	6.7%	-
ROIC	3.2%	-	6.1%	2.5%	△0.7%	-	-	4.4%	-
EPS(円)	78.4	-	120.4	62.3	-	-	-	128.7	-
営業利益	35,314	22,286	57,600	23,919	△32.3%	18,081	△18.9%	42,000	△27.1%
為替差損益	1,078	4,885	5,963	4,297	-	-	-	-	-
IFRSへの調整　他	△51	4,830	4,779	590	-	-	-	-	-
事業利益	36,341	32,001	68,342	28,806	△20.7%	21,194	△33.8%	50,000	△26.8%

FY2027/3 上期実績
【その他収益・費用】
主に火災保険収入72億により
その他収益が増加

FY2027/3 通期見込
【その他収益・費用】
為替差損益約54億円を計上
見込み

【金融収益・費用】
支払利息約15億円を計上見
込み

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

連結財政状態計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	FY2025/3 期末	FY2026/3 期末	FY2027/3 上期	対前期末増減額	対前期末増減率
流動資産合計	406,308	438,302	467,277	28,975	6.6%
非流動資産合計	542,964	559,175	555,734	△3,441	△0.6%
資産合計	949,272	997,477	1,023,011	25,534	2.6%
流動負債合計	257,743	247,066	291,392	44,326	17.9%
非流動負債合計	154,457	198,719	197,234	△1,485	△0.7%
負債合計	412,200	445,785	488,626	42,841	9.6%
資本合計	537,072	551,692	534,385	△17,307	△3.1%
負債・資本合計	949,272	997,477	1,023,011	25,534	2.6%
DEレシオ	0.43	0.43	0.56	-	-

《流動資産合計》 現金及び現金同等物が前期末比21.6%減の539億円となったが、主に食肉在庫の単価上昇及び数量増加等により棚卸資産が前期末比19.8%増の1,839億円、その他の金融資産が前期末比73.2%増の127億円となったこと等により、前期末比6.6%増の4,673億円となった。

《非流動資産合計》 DXの推進に伴い開発中のソフトウェアが増加したこと等により無形資産及びのれんが前期末比6.1%増の415億円となったが、使用権資産が前期末比5.6%減の424億円となったこと等で、前期末比0.6%減の5,557億円となった。

《負債合計》 スポーツ・エンターテイメント事業におけるシーズン経過に伴う前受収益の取り崩し等によりその他の流動負債が前期末比22.8%減の450億円となったが、当面の資金需要に備え調達を実施したこと等により有利子負債が前期末比26.8%増の2,898億円となったこと等から、前期末比9.6%増の4,886億円となった。

（単位：百万円）

	FY2025/3 上期	FY2026/3 上期	FY2027/3 上期	対前期上期増減額	対前期上期増減率
営業活動によるCF	22,374	42,463	△9,762	△52,225	-
投資活動によるCF	△15,744	△9,809	△20,257	△10,448	-
財務活動によるCF	64	△30,425	15,023	45,448	-

《営業活動によるキャッシュ・フロー》 税引前中間利益308億円等があったが、棚卸資産の増加308億円、その他の負債の減少130億円、法人所得税の支払額171億円等により、98億円の純キャッシュ減となった。

《投資活動によるキャッシュ・フロー》 固定資産等の取得199億円等により、203億円の純キャッシュ減となった。

《財務活動によるキャッシュ・フロー》 自己株式取得のため、支出300億円等があったが、短期借入金の増加674億円等により、150億円の純キャッシュ増となった。

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

設備投資額、減価償却費

（単位：百万円）

	FY2026/3	FY2027/3			
	上期実績	上期実績	対前期上期 増減額	対前期上期 増減率	通期計画
設備投資合計	12,219	17,600	5,381	44.0%	60,000
加工事業本部	4,728	4,754	26	0.5%	17,200
食肉事業本部	5,546	8,826	3,280	59.1%	31,700
スポーツ・エンターテイメント事業部	1,352	276	△1,076	△79.6%	3,100
消去調整他	593	3,744	3,151	531.4%	8,000
減価償却費	15,165	15,384	219	1.4%	32,000

※使用権資産に係る設備投資額、減価償却費を除く

FY2027/3 通期計画

維持更新と構造改革による既存事業の再強化を行いつつ、成長分野への戦略的な資金配分を加速

【加工事業本部】
主に国内外の生産設備等の維持・更新を見込む

【食肉事業本部】
国内川上事業の強化や豪州事業でのフィードロット拡張に向けた投資を見込む

【スポーツ・エンターテイメント事業部】
体験価値向上、2028年の新駅開業に向けた周辺施設の開発など成長投資を見込む

【成長分野】
ブランド強化、海外事業の拡大、R&D強化、環境関連等を見込む

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

Nipponham Group

Appendix

加工事業本部　FY2027/3　上期事業利益 前年差要因分析

（単位：億円）

	上期 前年増減	主な前年差要因	1Q見込差
ハム・ソーセージ＆加工品	△29		△19
粗利合計	△15		△17
数量要因	3	シャウエッセンや石窯工房など重点ブランドを中心とした販売戦略により数量拡大	△22
単価要因	△18		4
商品ミックス	4	重点ブランドの回復と継続した低収益商品の見直しによる改善	0
外部環境	△22		4
主原料	△12	豚肉などの主原料価格高騰	3
副資材	△10	包材価格高騰	2
経費合計	△14		△1
電燃料	△2		0
その他（製造経費・販管費等）	△12	生産ライン削減などにより固定費削減も物流費や販売手数料、労務費が上昇	△1
乳製品・水産・エキス・一次加工品他	4	エキス・一次加工品を中心に好調に推移 調達コスト高騰に伴う適切な価格転嫁により粗利益確保	0
その他（国内決算調整等）	9	DX/IT関連などの前年コストが改善	3
海外	7	北米：主力商品の売上伸長と原料価格の安定、買収工場の製造数量が前年比増加 タイ　：生産性は改善しつつも、原料相場の上昇や為替影響により減益	△1
合計	△9		△17

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved.（無断転載禁止）

加工事業本部　FY2027/3　通期事業利益計画 前年差要因分析

（単位：億円）

	前年増減	主な前年差要因	1Q見込差
ハム・ソーセージ＆加工品	△49		△60
粗利合計	△3		△52
数量要因	6	コンシューマ群は重点ブランドを中心とした販促強化と新商品導入で販売数量を拡大 業務用は年末最需要期に向けた大型販促の展開や未開拓領域へのアプローチで売上確保	△81
単価要因	△9		29
商品ミックス	51	価格改定の実施：期初想定を超過した外部コストの確実な吸収	18
外部環境	△60		11
主原料	△28	豚肉などの主原料価格高騰	9
副資材	△32	包材価格高騰	2
経費合計	△46		△9
電燃料	△14		△4
その他 （製造経費・販管経費等）	△32	重点ブランドの拡販に向けた商品販促を実施 人員構成の最適化や生産ライン統廃合による生産性の効率化と固定費削減の継続	△5
乳製品・水産・エキス・一次加工品他	5	適切な商品提案によるトップラインの拡大継続 調達コスト高騰に伴う適切な価格転嫁により粗利益確保	0
その他 (国内決算調整等)	10	DX/IT関連などの前年コストが改善	2
海外	22	北米：生産基盤の整備が完了したことを受け、販売数量拡大フェーズへ移行 タイ　：構造改革の加速による経費削減とCPFとの共創による内販強化	△2
合計	△12		△60

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

食肉事業本部　FY2027/3　上期事業利益 前年差要因分析

（単位：億円）

	上期 前年増減	主な前年差要因	1Q見込差
国産牛・豚事業	6	国産豚肉における生産頭数拡大により、飼料価格や生産コスト上昇をカバー	0
国産鶏事業	△33	知床火災影響△26億円の影響および飼料価格や生産コストが上昇	△4
輸入食肉事業	△1		△31
国内輸入食肉事業	△12	現地の仕入価格が高騰する中、国内の販売価格が軟調に推移	△31
その他海外	11	スペイン産豚肉の代替として、チリ産やブラジル産豚肉の調達が好調に推移	0
販売(フード)・物流部門	12	販売における価格転嫁、販売施策推進による収益改善	△2
豪州事業	△64	中国や韓国のSG発動による需給環境の変化を受け、販売価格が低迷したことに加え、 天候要因などによる生体価格の高止まりが継続	△4
その他 (決算調整等)	5		4
合計	△74		△37

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

食肉事業本部　FY2027/3　通期事業利益計画 前年差要因分析

（単位：億円）

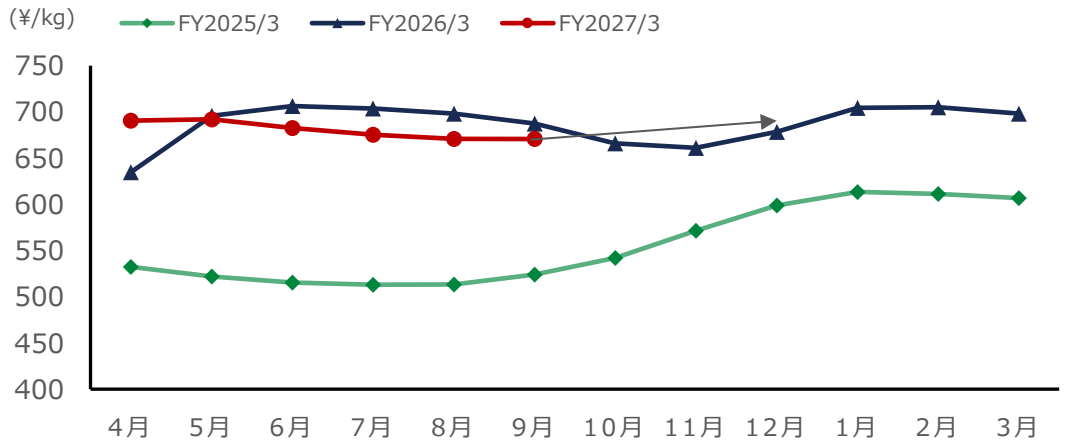
	前年増減	主な前年差要因	1Q見込差
国産牛・豚事業	4	飼料価格高騰も、国産豚新農場の安定稼働と更なる生産性追求で収益を確保	0
国産鶏事業	△31	知床火災影響△38億円の影響は受けるが、4工場の生産効率化を徹底し、減産分をカバー	0
輸入食肉事業	△30		△24
国内輸入食肉事業	△35	輸入鶏肉の仕入環境悪化と弱含む販売価格により粗利益が減少	△24
その他海外	5	バリューチェーンの強みを活かし、対日需要に合致する調達で数量拡大を図る	0
販売(フード)・物流部門	9	成長けん引企業毎の課題解決に向けた企業戦略の実践、都市部や地方の特性に合わせたルート販売戦略の遂行 ブランド食肉や加工品の販売拡大により収益性を改善	0
豪州事業	△114	下期は販売価格の回復を見込むが、生体価格は依然高止まり	△26
その他 (決算調整等)	0		0
合計	△163		△50

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. （無断転載禁止）

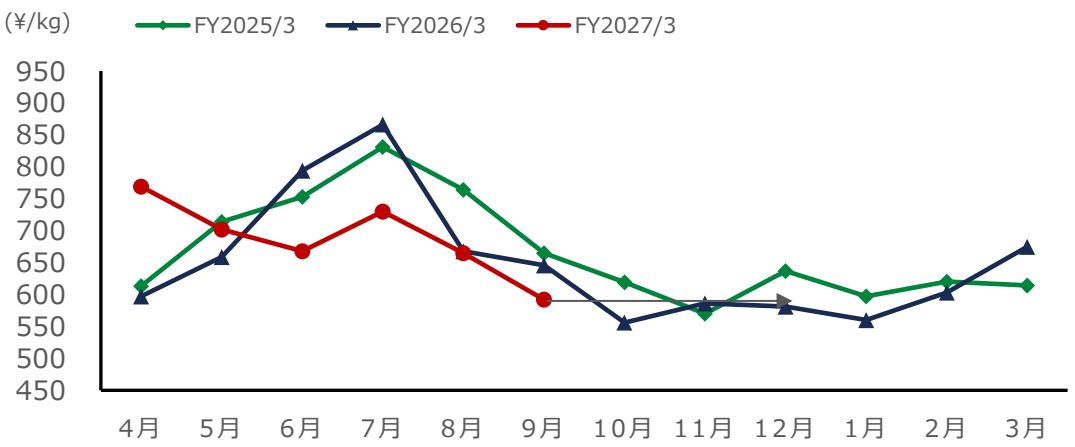
国産鶏肉相場

出典：鶏肉加重平均※農畜産業振興機構、農林水産省「食鳥市況情報」より単純平均単価



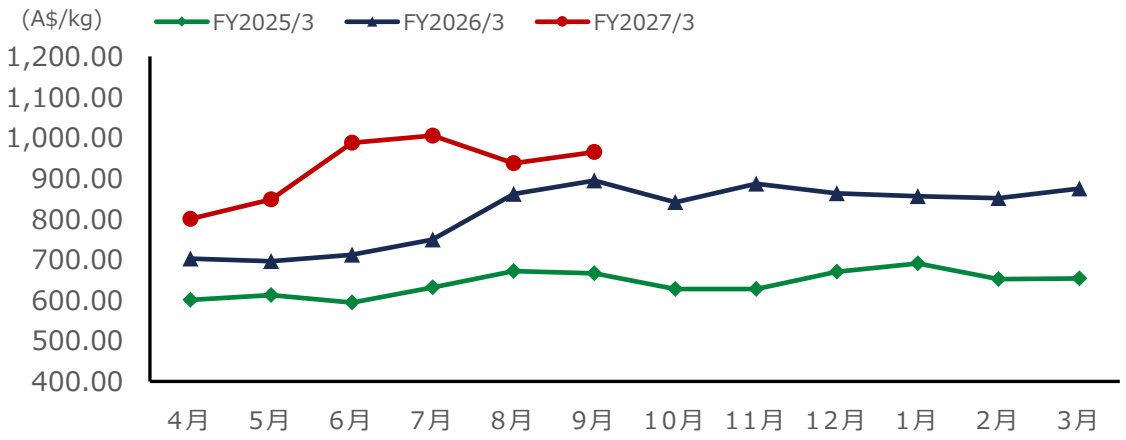
国産豚肉枝肉卸売価格

出典：上物　東京食肉市場平均価格 ※東京食肉市場株式会社



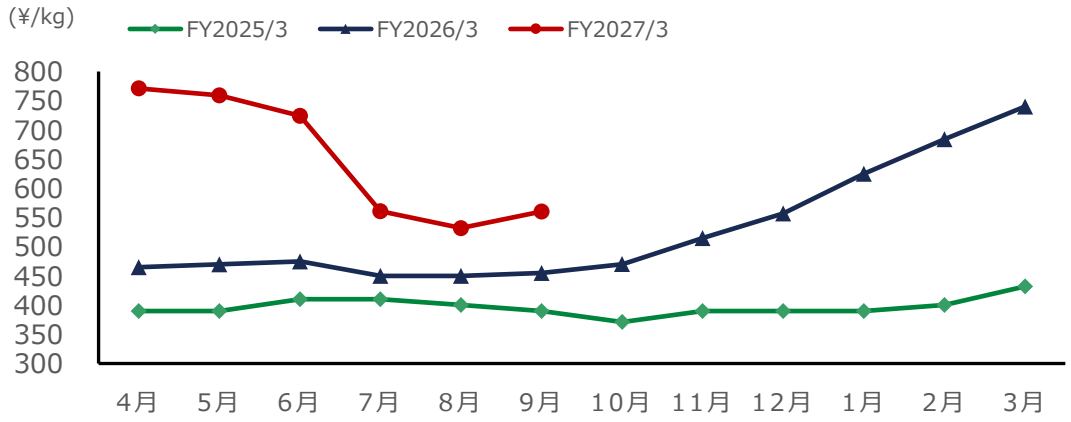
豪州産若齢牛価格(生産者販売価格)

出典：MLA



ブラジル産鶏もも肉　日本国内価格

出典：　食品産業新聞社畜産日報掲載分から単純平均単価



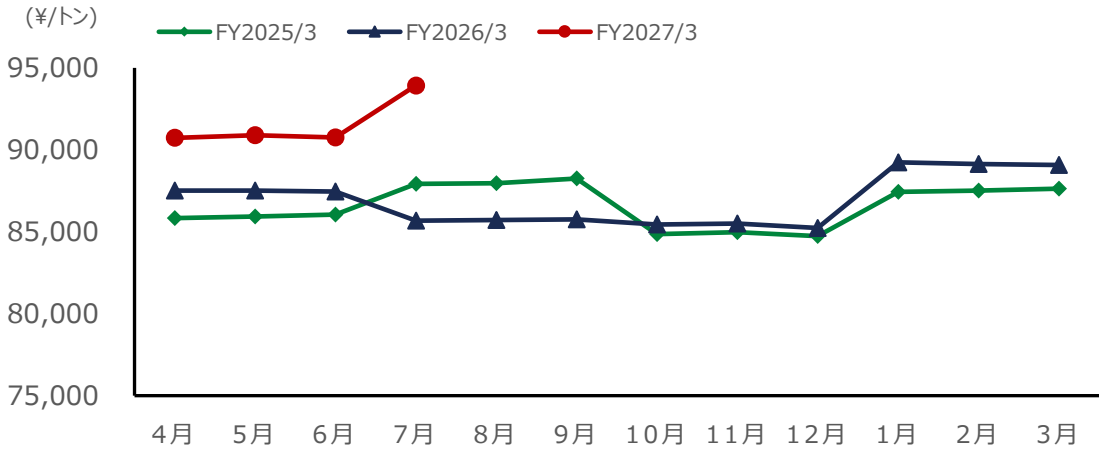
その他データは二次元バーコード/URL参照（市場動向資料集）
https://www.nipponham.co.jp/ir/library/market_trend/

Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved.（無断転載禁止）

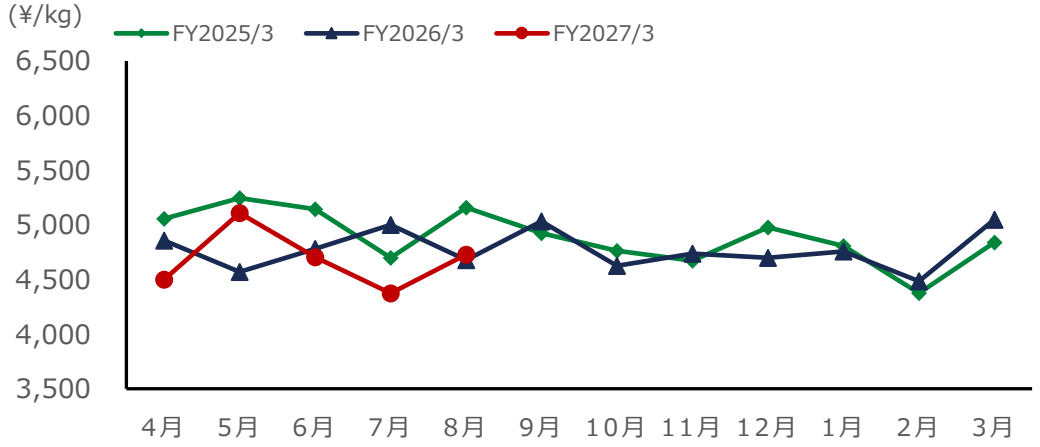
配合飼料価格

出典：農畜産業振興機構



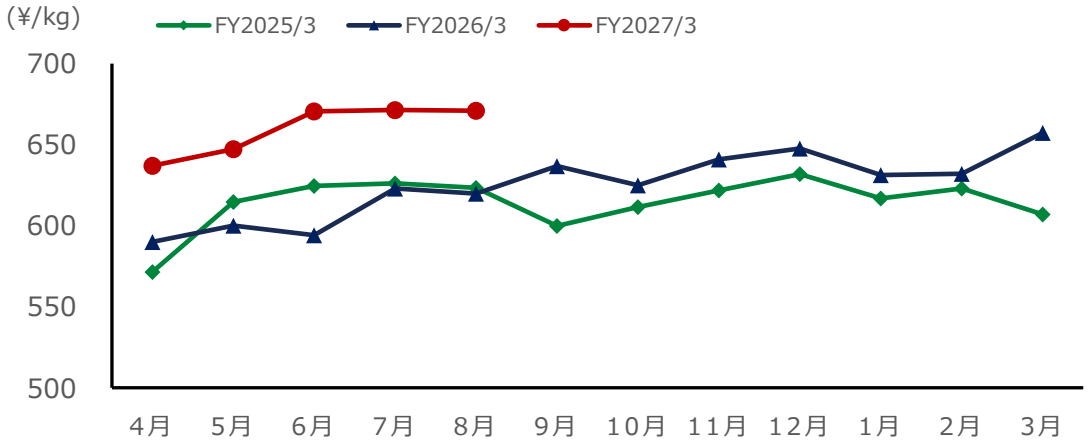
天然腸輸入価格 ※主に羊腸(豚腸・牛腸等も含む)

出典：財務省貿易統計（金額÷数量で算出）



シーズンドポーク(GSP)輸入価格

出典：財務省貿易統計（金額÷数量で算出）



Nipponham Group

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved.（無断転載禁止）

お問合せ先

〒141-6014
東京都品川区大崎2-1-1　ThinkPark Tower
日本ハム株式会社　VBM推進室
電話：03-4555-8052
メールアドレス：nhfoods.ir@nipponham.co.jp

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。
また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。
従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願いいたします。
また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうる
ことをご承知おきください。